

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田忠宏



記念の年に輝く発刊

実行委員からの寄稿

平塚MAC20周年記念誌

新型コロナウイルス感染拡大による影響は、世界中を一変させました。多人数が集まることは感染拡大の懸念があるため、3月から平塚MACのほとんどの行事が中止を余儀なくされました。今年の定時総会は平塚MAC創立20周年記念総会になる予定でしたが、開催ができませんでした。昨年8月に創立20周年記念誌作成の実行委員会が結成され、今年になってからは新型コロナウイルスの影響で実行委員が集まり、話し合いもできない厳しい環境が続きました。昨年の総会で決議された「平塚MAC20周年記念誌」の作成は試行錯誤しながらのとりくみでした。このたび4月16日の発行に向けて、尽力された実行委員の方々にその苦勞の一端を寄稿していただきました。

二十年史を刊行したい願望が実現

MACと私に七割が執筆に感無量

「平塚MAC20年史」は、平成30年（2018年）4月の定時総会後の懇親会の際に、古和田さんが谷さんと私に声を掛けてくれたことに始まります。その後、西田さんが創立10年の時に個人的にまとめられた資料をお持ちだと聞き、4名で20年史の作成を依頼されました。8月に実行委員会が結成されて初会合が開かれ、わず

か8カ月で今回の素晴らしい冊子が完成しました。私

が目指したのは全員参加の冊子にすることでして、「平塚MACと私」に全会員の70%に当たる42名の方々が執筆してくださり、これが一番嬉しかったです。

大野 耕一 記

利用できた10年前の記録

気が付いたら20年を経っていた

実行委員会が編成されたことで、記念誌を作成する雰囲気は10年前とは全く異なっていました。10年前は「10年という節目なので、何か記念行事をやる」と言っても、どうせなくなってしまう組織だからという感じでした。殆どの人は20年を迎えるとは思っていませんでした。その日その日を活動してきて、

気が付いたら20年を経ているという感じでした。

今回実行委員の一員としてお手伝いをさせていただきましたが、記念誌を作成することになるとは思いませんでした。今回10年前に「10年間のあゆみ」を作成した資料を、利用することができたことは良かったなと思います。

平塚MACの発足の経緯を書いていて、印象に残ったことは慶弔見舞金規定の制定と廃止です。会員相互の扶助のため制定されたのですが、死亡弔慰金と傷病見舞金だけだったので、慶弔見舞金規定に慶事がないのはおかしい、規定だから名前だけでも「祝い事」を入れようということになりました。何が良いか考えましたが、還暦や古希などは既

に過ぎてしまった人はもらえない等があり、結婚祝金にしました。



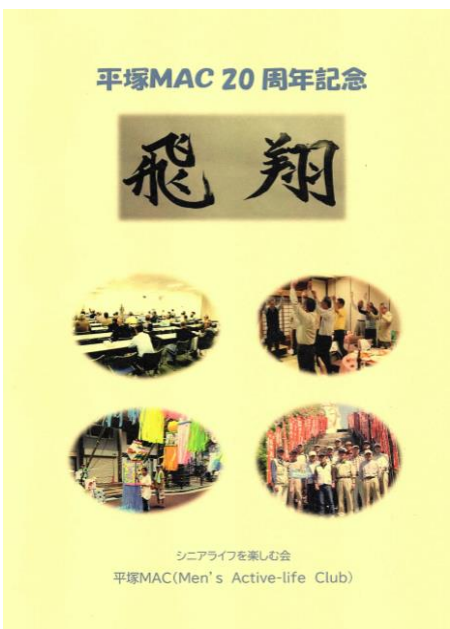
印象に残った会員の結婚

高齢者が多い平塚MACで今から結婚する人は絶対いないという前提で慶事を制定したのですが、平成19年に77歳の人が結婚したのには驚きました。最初で最後の適用でした、傷病見舞や死亡が増え資金面の限界から、制定して10年目でこの規定は廃止になりました。

発足したときは30代・40代の人もいたのですが、今は高齢者の多い組織になってしまいました。年間1千円の会費で、いろいろな活動ができることは魅力だと思います。良く20年間も継続することができたなと思えました。更に30周年を迎えられることを祈念致します。

西田 良雄 記

裏面へ続く



少ない予算で冊子化

実行委員の協力に感謝

記念誌編集のお手伝いをする事になりましたが、原稿内容は先輩の皆様にお任せし、私は少ない予算を考慮して、とにかく安く体裁よく作成する事を念頭に、当初印刷は自前でモノクロ、冊子は委員でホチキス止めをしようと進めていました。皆様もご経験がありましたかと思いますが、ネットでも価格差がものすごくあります。今回も印刷のみでも冊子化より高額であったり、用紙の選択やカラー・モノクロによっても大きく違っ

たり、カラー・モノクロの混在が不可だったり、完成部数が任意に選択できなかったりと、とにかく多種多様でした。

今回は委員の皆さんから多くの情報をいただき、当初考えていたよりも冊子化迄比較的リーズナブルでデータさえ送れば冊子にしてくれるメーカーを偶然見つけ完成にこぎつきました。丁度コロナ問題や期末で他の記念誌等の発行時期と



三密を防止しながら

コロナ禍の中 各メンバーの執念と努力に絶賛

素晴らしい20周年記念誌が完成した事に実行委員の皆様に変更感謝致します。私は役員の方からお誘いを受け、仕事との掛け持ちで、可能かどうか迷いましたが、節目の20周年にお役に立てればと思い引き受ける事にしました。

昨年の8月初会合から今年3月までの短期間の

も重なり、4月16日発行に向けて最後は実行委員の皆様が大変忙しい思いをさせてしまいました。しかし素晴らしいコミュニケーションにより、何とかギリギリに間に合わせる事が出来、ほっとしました。

今回印刷はPDFデータ送信のみですべて完結するのですが、自分自身は試し印刷無しの一発勝負だったので、どんな出来上がりになるかは未知でした。完成品の反省点は多々ありますが、お陰様で冊子化の良い経験が出来ました。有り難うございました。

杉山 洋雄 記

執念と努力が結果を出したと感じました。

私は各アイテムの編集時から仕事が繁忙になってしまい、会に参加できなくなり、恐縮していました。又、新型コロナウイルス発生後は打ち合わせ会場が使用出来ず、メールでのやり取りで各人の本音が見えにくい中纏め上げた事は絶賛に値する事と思います。

記念誌の文章作成して戴

コロナ禍を乗り越え

4月の発刊に感謝

記念誌の内容に平塚MACに加わって日の浅い私から申し上げることはありませんが、実行委員として参画した感想を述べさせて頂きます。

始まりは昨年の夏、その後実行委員会の発足。その会合を続け当初の令和2年6月の創立記念を待たず、4月の総会に併せた発行が可能になる順調さ。そこにこのコロナ禍です。ラストスパートの3月からは会合を持つことも出

いた杉山孝司さん、記念誌の最終版作成をして戴いた杉山洋雄さん、更にはMAC発足経緯と年度別活動実績を纏め上げた西田さん、そして全体の指揮と、フォローをして頂いた池田さん、宮武さん、山本さん、大野さん、谷さんには心から感謝したいと思います。

最後に記念誌を読んだの会員の感想があるタイミン

グで聞きたいものです。

高橋 国夫 記



ご意見募集しています

今年号は平塚MAC20周年誌実行委員からの寄稿を掲載しました。実行委員以外の会員からお待ちしておりますが、記念誌への皆様のご意見を伺いたいと思います。お気軽に投稿お願いします。また、ウィズコロナと言われる中、生活の知恵などもご紹介ください。

の打ち合わせが出来ないことの歯がゆさを実行委員の皆様が感じたことと思います。それら乗り越えて記念誌の発刊が無事できたことが嬉しく、会員や実行委員の皆様へ感謝する次第です。

山本 和昭 記

当面のスケジュール

7月13日(月) パークゴルフの会
7月20日(月) パークゴルフの会
7月3日、10日、17日、31日(金) 囲碁を楽しむ会

※新型コロナウイルス感染防止のため行事に影響がでています。世話人等への確認を!